

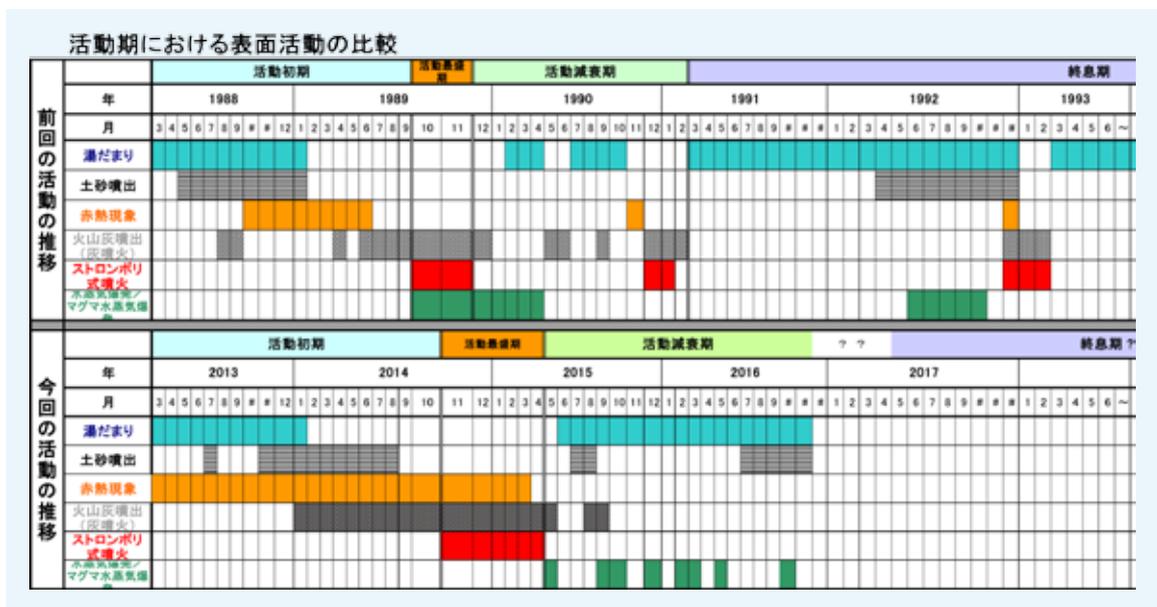
### 24 中岳噴火とジオパーク

## 中岳の活動は今後どうなる？～前回の活動期との比較～

ことし10月8日の大規模噴火以来、目立った活動は見られない中岳火口ですが、今後、どうなっていくのでしょうか？ もちろん火山のことなので確かな予測をすることはできません。しかし、現在の状況をしっかりと観測していくこと、また過去の噴火活動の推移と比較してみるなどによって、今後の活動を予測することはある程度可能です。ここでは、前回の活動期(1988年～1995年)と、今回の活動期(2013年以降)との比較をしてみたいと思います。

図にあるように、前回の活動は盛衰を繰り返しながら約7年間続きました。しかし、活動の中心は1989年秋頃の約2カ月間です。その後はマグマの残り物による余熱活動であると考えられています。今回も、活動の中心は2014年秋から15年春にかけての6カ月ほどの短い間でした。その後は、やはり余熱活動が続いているものと考えられます。10月8日の噴火もその一環で、その後、新たなマグマ活動は見られていません。

このようなことから、今回の噴火活動はもうしばらくの間余熱活動として続く可能性があります。そのなかでは、これまでと同様、爆発的噴火が発生する可能性がありますので、もうしばらくの間は注意しておく必要があると考えられます。(原稿執筆:阿蘇ジオパーク推進協議会事務局長 池辺伸一郎)



阿蘇地域は平成26年9月23日(日本時間)、世界ジオパークネットワークに加盟認定されました。本ページでは、阿蘇ユネスコジオパークの見どころ「ジオサイト」を毎月紹介していきます。

